

時には不登校にさせる

平成 30 年 10 月 20 日記

A 君が中学 1 年の 9 月下旬から不登校になり、11 月初めご両親が相談に来た。本人とも面談し、心理テストも取り、その素因を科学的に分析した。父性、自尊感情が低く、周りの目を異常に気にすることに加えて、特に英語と数学、理科の学力不足が分かった。早速当該中学校の出席認定を取りながら、学習支援を行った。同時に、父性、自尊感情と感性（感情を出す）の成長させるプログラムを始めた。1 ヶ月半後の 12 月中旬、再登校を果たした。

ところが年が明けた 1 月下旬、再びご両親が相談に来られた。聴くと、A 君が平日毎日放映するある TV 番組を始め TV 三昧かゲームにはまり、勉強をしなくなったと言う。

本人と話し合った。折角学力を取り戻し、授業復帰したのに。「でも、僕はあの番組が好きなんです。ゲームは、友達みんなやってるし。」反省もない。宿題も TV 三昧かゲームに時間が取られ、やらないことが多いと平然と言う。

「分かった。そんなに勉強する必要を感じてないなら、今から家に戻って、家にある勉強道具、教科書から副教材、ノート一式、ダンボールに入れて、フォーラムの教室に持って来い。このあと君の両親と相談し、明後日の月曜日私が学校に行って、担任の先生に申し入れをして来る。君はその日から毎日 8 時、自転車でフォーラムの教室に来なさい。」と申し付けた。後で聞くに、A 君は毎日フォーラムの教室で勉強させられると思ったらしい。

持ってきた教科書等一式は彼が帰った後、鍵のある書棚にダンボールごと入れた。私は両親を呼んで提案をした。両親はその提案に驚いたが、校長先生宛の申し入れ書に署名して頂いた。私の妻には、明後日の朝私は彼の学校に行くから、彼が来たら教室の掃除をさせてほしいと伝えた。

「申し入れ書 **中学校校長様。私達、**A の保護者は、A の今後の成長のために、*月*日から A が学習の必要性を切に感じるまで、**中学校の授業に欠席すること、及び、その間毎日特定非営利活動法人静岡県教育フォーラムの教室に通い、同理事長の指示の元に作業させることに同意し、申し入れます。平成*年*月*日 藤枝市***丁目**番**号 父**** 母****」

私はこの申し入れ書を持ち、中学校に行った。当然に先生方は驚かれた。

「A 君の保護者のご同意とお申し入れもありますので、了解しました。でも山下先生、先生は当の A 君の不登校も解消し、ほか多くの子どもたちの不登校を解消させてこられているのに、逆に不登校にもさせるんですか？少し驚きまし

たが、確かにその方法は大変な教育効果も期待できますので、見守ります。」と、校長先生は快諾してくれた。その間の出席認定もして頂いた。

その日からA君は毎日朝から夕方まで弁当持ちで来た。しかし彼には勉強を一切やらせず、ひたすら当フォーラムの教室から建物、その周辺まで念入りに掃除してもらった。流石に3日目に、「先生、本当に掃除ばかりで勉強させてくれないんですか？」と、彼が言ってきた。「もちろん」と答えた。4日目には、「先生、やはりお願いですから、少し勉強させて下さいよ。」と頼んできた。断った。5日目作業を終え帰った後夜、彼は両親を連れて当フォーラムの教室に来た。教室に入るなり、彼は両親と私の前に土下座して、「どうか僕に勉強をさせて下さい。テレビも見ないし、ゲームは先生に預けます。お願いします。」と懇願した。私は両親に伺った。両親も私に「お願いします！」と頭を下げてきた。「いやいや、これは私ではなく、ご両親が決めることですから。」

翌週の月曜日から彼は両親に登校を許され、下校後5日間は、これまでの作業のお礼に私がこの間の主要5科目の勉強を教えた。そして、美術や技術などの作品等も遅れて提出した。